



第27号  
発行所 田代時報  
電話 乙番 谷内吉一  
発行責任者 湯小川  
編集責任者 鹿屋市曾田田中  
印刷所 南日本新嘉屋屋  
電話 88-98-1267

## 本村に於ける

### たばこ耕作と農家經營

本年の本村葉たばこ収納は去る十  
月十二日より十月十八日迄二週間  
に亘り実施されましたが其の成績  
は本号に村経済課長が発表され  
たる様に耕作人員二八名、  
耕作反別二五町二反余をもつて收  
納代金一二、九八九、八五五円で  
一反当五、一四七八円といふ好成  
績でこれを耕作農家一戸当平均  
り見ても一〇一、四八三円となつ  
て居り、一反歩当収納代金は田代  
村たばこ耕作史上本年が最高の成  
績でありました。これは取りもな  
おさげたばこ耕作者皆様が耕作意  
欲の昂揚と耕作法の研究改善に日  
数努力下され、且つは村当局を始  
めとし村民の皆様がかねて断築に  
対する深き理解と御指導御援助  
の賜と存するものであります。は  
お参考迄個人別成績優良者を挙げ  
て見ますれば、  
1近川龍次郎 三一、〇一〇円  
2辺志切 早 三〇三、五六五円

三辺志切利夫

二、反歩当収納代金最高者

1近川辰美

九四、二〇八円

2小川誠治

八三、〇八三円

3辺志切早

七九、八八六円

以上のような成績はひとり本人の  
利得のみならず農村内全般に潤  
を齎すものと信じます。我田引水のよ  
うに思われるかも分  
りませんが、然し実際問題として  
現在村内の醸築に於て斯の様な多  
額の金を然も勘めて取扱うものが  
あるということは村民お互注目す  
べきことではなかろうかと居われ  
ます。今やデフレ政策は一段階、  
二段階と予想のコースを辿り農村  
の限界まで浸透してあり、何処  
に行つても金詰りに困る農村不況  
受られますとき加えて相次ぐ古風  
の醸築へと其の響くところ実に大  
なるを想わされます夫々農家に於  
たばこ耕作を終りて居ります

●農談会終りて

本年二回目の部落農談会は、

皆様の協力によりまして有意義に  
非常な効果を収めて終りました。

各部落の建設的な御意見御要望は、  
本年度作別収納金は、

六日山口縣宇都市で開催せられ、  
席上本村々長は林野行政公務労者と  
い様などの講師がありました。

して林野廳長官から表彰せられま  
した。

●県道品評会で一位に入る

本年度五号十二月台風による  
耕地の災害査定のため、熊本農地  
事務所から査定官が十月七日に來  
ました。

月二日四日に亘り、土木事務所管  
理で直轄で、土木事務所管

月二十六日出荷の結果は左の通り  
です。

●新地災害査定官來村す

二十九年五号十二月台風による  
耕地の災害査定のため、熊本農地  
事務所から査定官が十月一月に來  
ました。

本年度五号十二月台風による  
耕地の災害査定のため、熊本農地  
事務所から

